

第 109 回規格会議

10月11日（木）に、第109回規格会議が東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催されました。

今回は標準規格の策定1件、改定3件、技術資料の策定2件、改定4件が提案のとおり決議されました。



第 109 回規格会議の様子

本規格会議において決議された議案の概要は以下のとおりです。

第 109 回規格会議 標準規格及び技術資料の策定及び改定等の概要

No.	規格等番号	規格名等	概要
1	ARIB STD-T120 Ver.1.00	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、3GPP（Third Generation Partnership Project）の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems（International Mobile Telecommunications Systems）に関するもので、無線アクセス、コアトランスポートネットワーク、コーデック、セキュリティ、サービス機能などのシステム仕様を規定するものである。</p> <p>2018年6月、3GPPによって第5世代移動通信システム（5G）の仕様を含むリリース15が策定され、7月には総務省の情報通信技術分科会において「第5世代移動通信システム（5G）の技術的条件」が答申された。これらの動きを受け、3GPPの技術仕様が第3世代および第4世代を包含するものであることを踏まえ、従来の標準規格（第3世代：STD-T63、第4世代：STD-T104）を統合し、3GPPが2018年7月までに更新したリリース8からリ</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			<p>リリース 15 までの技術仕様を基に、新たに IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB STD-T120 Ver.1.00) として策定するものである。</p> <p>第 5 世代移動通信システムは、第 4 世代移動通信システムを発展させた「超高速」に加え、「多数接続」、「超低遅延」といった新たな機能を持つ次世代の移動通信システムである。ITU-R では、第 5 世代移動通信システムのユースケースとして、モバイルブロードバンドの高度化 (eMBB : Enhanced mobile broadband)、大量のマシンタイプ通信 (mMTC : Massive Machine Type Communications)、超高信頼・低遅延通信 (URLLC : Ultra reliable and low latency communications) を挙げ、様々な要求条件に対して優れた柔軟性を備え、必要な機能や品質を必要な場所で提供することを目指している。</p>
2	ARIB TR-T23 Ver.1.00	IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report	<p>本技術資料は、3GPP (Third Generation Partnership Project) の技術仕様に基づく国際標準規格 IMT Systems (International Mobile Telecommunications Systems) に関するもので、要求条件や今後の規格策定に必要となる技術情報を記載したものである。</p> <p>2018 年 6 月、3GPP によって第 5 世代移動通信システム (5G) の仕様を含むリリース 15 が策定され、7 月には総務省の情報通信技術分科会において「第 5 世代移動通信システム (5G) の技術的条件」が答申された。これらの動きを受け、3GPP の技術仕様が第 3 世代および第 4 世代を包含するものであることを踏まえ、従来の技術資料 (第 3 世代 : TR-T12、第 4 世代 : TR-T19) を統合し、3GPP が 2018 年 7 月までに更新したリリース 8 からリリース 15 までの技術仕様を基に、新たに IMT Systems based on 3GPP Specifications (ARIB TR-T23 Ver.1.00) として策定するものである。</p>
3	ARIB STD-B62 2.0 版	デジタル放送におけるマルチメディア符号化方式 (第 2 世代) 標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における第 2 世代のマルチメディア符号化方式として、高度広帯域衛星デジタル放送に適用されるものである。</p> <p>今回の主な改定は、放送事業者等が要望する新 4K8K 衛星放送のより一層の高度化・多様化に対応するために、高度広帯域衛星デジタル放送の字幕・文字スーパー、放送用拡張関数及び放送通信連携機能等に関して規定追加をおこなうもので、各編の主な改定内容は以下のとおりである。</p> <p>第一編の改定は、第 1 部に規定されるレファレンスモデルにおいて端末連携機能を追加するとともに、第 3 部に規定される字幕・文字スーパーの</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			<p>符号化方式において字幕圧縮方式の明確化、XML Schema の全文記載、関連する準拠文書と略語の追加を行い、あわせて通信サービスでの利用を考慮して MIME Type の定義を追加するものである。</p> <p>第二編の改定は、マルチメディア符号化方式言語仕様において第一編で追加する端末連携機能を実現するための放送用拡張関数の追加を行うとともに、高度広帯域衛星デジタル放送のマルチメディアサービス実現にあたり必要となる録画再生状態の判定機能およびデータイベント更新通知機能を放送用拡張関数に追加するものである。</p> <p>なお、今回は改定内容が多岐に渡るため、大幅改定とし版数を 2.0 版とする。</p>
4	ARIB STD-B60 1.13 版	デジタル放送における MMT によるメディアトランスポート方式標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送における MMT による映像、音声、データ等のトランスポート方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、高度広帯域衛星デジタル放送で用いられる第 2 世代マルチメディア符号化方式 (SDT-B62) において字幕・文字スーパーのデータ圧縮方式が規定されることに対応して、メディアトランスポート方式においてその圧縮方式の識別を規定するものである。また、トランスポート方式においては伝送する字幕データの形式は字幕記述方式識別で識別され、ARIB-TTML に限定されないことを明確化し、さらに、参照文書を最新に更新するものである。</p>
5	ARIB TR-B39 1.9 版	高度広帯域衛星デジタル放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、高度広帯域衛星デジタル放送の伝送方式による超高精細度テレビジョン放送の放送局での運用並びに受信機の機能仕様に関し規定したものである。</p> <p>今回の主な改定は、本放送開始に向けて一般社団法人放送サービス高度化推進協会 (A-PAB) のテストセンター等で行っている機能検証において確認された課題事項等に対応するために、音声の外部出力に関する明確化、マルチメディアサービスに関する規定の改定、運用想定のない項目に関する改定と明確化、パレンタル制御対象番組における CA アプリケーションの望ましい動作の明確化、放送事業者の社名変更に伴う改定、HDTV の画素数以下の映像に関する保護の明確化及び新たに A-PAB において認定されたリムーバブル記憶媒体のコンテンツ保護方式「AACSS2」に関する規定追加を行うものである。</p>
6	ARIB TR-B15 7.7 版	BS/広帯域CSデジタル放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様に関し規定した</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
			<p>ものである。</p> <p>今回の主な改定では、高度広帯域衛星デジタル放送に関わる ARIB 標準規格や運用規定 (ARIB TR-B39) 等の改定が行われることに伴い、それらの規格との整合性を図るためのもので、A-PAB において認定されたリムーバブル記録媒体のコンテンツ保護方式「AACCS2」に関する規定の追記反映と BML 文書内で扱う AIT コントロールドアプリケーション(放送連携 HTML5 アプリケーション)の外部起動機能について規定の追加を行うものである。</p> <p>さらに、BS 委託放送事業者名の変更及びサービス構成の変更に伴い関連する記載の修正、並びに 110 度 CS 委託放送事業者の帯域削減及び帯域再編に伴い関連する記載の修正を行う。</p>
7	ARIB TR-B14 6.4 版	地上デジタルテレビジョン放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、高度広帯域衛星デジタル放送に関わる ARIB 標準規格や運用規定 (ARIB TR-B39) 等の改定が行われることに伴い、それらの規格との整合性を図るためのもので、A-PAB において認定されたリムーバブル記録媒体のコンテンツ保護方式「AACCS2」に関する規定の追記反映と BML 文書内で扱う AIT コントロールドアプリケーション(放送連携 HTML5 アプリケーション)の外部起動機能について規定の追加を行うものである。その他、本技術資料で参照している HDMI 仕様の仕様管理団体 (HDMI Licensing Administrator, Inc.) の名称変更が行われたため、その反映を行う。</p>
8	ARIB STD-B58 2.0 版	超高精細度テレビジョン信号スタジオ機器間インタフェース規格 標準規格	<p>本標準規格は、超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格標準規格(ARIB STD-B56)で規定される映像データ及び補助データを伝送するために必要となる機器間インタフェースすなわち番組制作機器、送出装置等の信号の受渡しに関して規定するものである。</p> <p>今回の改定は、STD-B56 に規定された SDR 方式の 4K、8K 信号に加え、新たに STD-B67 に規定された HDR(HLG 方式)の 4K、8K 信号も伝送可能とするため、本標準規格の目的及び適用範囲の拡張、信号種別を識別するペイロード ID の割り当ての拡張、準拠文書の追加をするものである。</p> <p>なお、目的及び適用範囲の変更に伴い、大幅な改定とし 2.0 版とする。</p>

No.	規格等番号	規格名等	概要
9	ARIB TR-B45 1.0 版	テレビジョンカメラ の感度・信号対雑音 比測定法 技術資料	<p>本技術資料は、デジタル出力のみを備えるテレビジョンカメラの普及と統一されたデジタル測定法が定められていないことを踏まえて、感度及び信号対雑音比のデジタル測定法及び表記方法を記載するものである。</p> <p>本技術資料では、テストチャートの反射率、照明条件、計算式及び測定レポートの表記方法を記載するとともに利用者の利便性を考慮して測定手順を記載するものである。</p>
10	ARIB TR-B43 1.1 版	高ダイナミックレンジ映像を用いた番組制作の運用ガイドライン 技術資料	<p>本技術資料は、STD-B67 で規定され高度広帯域デジタル衛星放送方式に採用された、HLG 方式高ダイナミックレンジ映像の番組制作運用ガイドラインについて記載しており、基準白の定義、SDR から HLG へのマッピング方式及び代表的な信号レベル等を記載したものである。</p> <p>今回の改定は、参照文書の変更及び追加、付録 1 へのデシベル表記の追加を行うとともに、新たに解説、参考資料及び付属を追加して、放送事業者における番組制作や運用において HLG 映像を扱う場合の運用ガイドラインを補足し、さらに関連する情報を提供するものである。</p>